

令和4年3月舞踊公演
国立劇場開場55周年記念

素踊りの世界

地方 常磐津一佐太夫・常磐津菊寿郎
萩江露秀・萩江寿邦
杵屋勝四郎・稀音家祐介
高橋翠秋 ほか
囃子 藤舎呂浩連中



解説

素の表現をさぐる

歌舞伎舞踊との比較「供奴」

藤間勘右衛門

ご案内 水谷彰宏(元NHKアナウンサー)

子宝三番叟

西川箕乃助
花柳基

鐘の岬

中村梅彌

供奴

藤間勘右衛門

3月5日(土) 午後2時開演 (午後4時10分終演予定)

入場料金(税込)
全席指定 5,000円/学生 3,500円
※障害者の方は2割引です。

予約開始=1月18日(火)午前10時
窓口販売開始=1月19日(水)
(チケット売場 午前10時~午後6時)
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]
0570 (07) 9900 03 (3230) 3000 [一部IP電話等]

【インターネット】国立劇場チケットセンター 検索

※本公演は休演がございます。
※字幕表示がございます。
令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト
主催=独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

National Theatre - Tokyo Presents
Traditional Japanese Dance
Without Adornment

March 5, 2022
Booking Opens January 18
Box Office 0570-07-9900 (10:00-18:00)
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm

東京・半蔵門
国立劇場 小劇場
〒102-8656 千代田区準町4-1
03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>

新型コロナウイルス感染予防の対策に、
ご理解とご協力をお願いいたします。
詳細はホームページをご覧ください。

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO

文化庁 beyond 2020

令和4年3月舞踊公演
国立劇場開場55周年記念

素踊りの世界

素踊りは、屏風を背に紋付などの衣裳で、扇をはじめ最小限の小道具を持って踊るといふ、日本舞踊そのものの美しさが映える上演様式です。大道具が飾られた舞台で役柄を表す髪や衣裳とともに踊る歌舞伎舞踊(衣裳付)とは対極にあります。シンプルだからこそ振りや動き、体の形などの楽しさが存分に味わえるとも言えます。

その素踊りを特集する本公演の今回のテーマは「素と衣裳付」。素踊りならではの動きや表現方法、同じ作品を素と衣裳付で踊る際の違いなどをお楽しみいただきます。

素の表現をさぐる

歌舞伎舞踊との比較「供奴」

藤間勘右衛門

水谷彰宏

歌舞伎俳優・尾上松緑として活躍する藤間流家元の藤間勘右衛門が、古典の名作「供奴」を題材に、素と衣裳付での踊り方の比較を通じて、素ならではの魅力や、観る楽しみが一層深まるポイントをご紹介します。

ご案内
水谷彰宏
(元NHKアナウンサー)

子宝三番叟

西川箕乃助
花柳基

常磐津の「三番叟」としては最も古い作品で、御祝儀物の代表作として知られています。初春の風景に始まり、端午の節句、七夕の踊り、菊や雪など四季折々の情景や風物が詠み込まれており、古風でおおらかな風情が漂います。

西川箕乃助は端正な踊りで古典に力を発揮するほか、新作の振付など幅広く活躍しています。花柳基は洒脱で巧緻な表現力に定評があり、華のある舞台を見せる実力派です。

鐘の岬

中村梅彌

長唄の唄方が江戸中期に創出し、主に吉原などのお座敷で展開してきた荻江は、しっとりとした情感が魅力です。「鐘の岬」は、「娘道成寺」を元にした地歌「鐘ヶ岬」を荻江に移したもので、繊細で上品な曲調の中に、恋や鐘へ寄せる想いが光ります。

中村流家元の中村梅彌は父・七代目中村芝翫譲りの古格守った技芸により、日本舞踊界を支え、牽引する一人です。

供奴

藤間勘右衛門

廓に向かう主人のお供に遅れてしまった奴を描いたもので、七変化「拙筆力七以呂波」の1コマとして初演されましたが、単独で盛んに上演される人気作となりました。奴らしいキビキビとした動きや、足拍子と小鼓の掛け合いなど、躍動感が際立つ作品です。

藤間勘右衛門の緩急自在で情景や人物の描写も鮮やかな踊りを通じて、素の表現が織り成す世界を心ゆくまでご堪能ください。



水谷彰宏



藤間勘右衛門



花柳基
(篠山紀信撮影)



西川箕乃助
(篠山紀信撮影)



中村梅彌



藤間勘右衛門

3月5日(土) 午後2時開演 (午後4時10分終演予定)

※本公演は休憩がございます。
※字幕表示がございます。

◎入場料金(税込)=全席指定 5,000円/学生 3,500円

※障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
※出演者などの変更の場合はご了承ください。

予約開始

1月18日(火)
午前10時

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]

0570-07-9900 03-3230-3000

【インターネット】

国立劇場チケットセンター

検索



■窓口販売開始 1月19日(水) (チケット売場 午前10時~午後6時)

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

■プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
E+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

東京・半蔵門
国立劇場 小劇場
〒102-8656 千代田区単町4-1
03-3265-7411 (代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>

国立劇場託児室

この公演は託児室をご利用いただけます。ご利用には、事前のご予約をお願いします。(現在、受け入れ人数を制限しております。)

料金 [0~1歳] 2,200円 / [2~12歳] 1,100円(税込)
ご予約 イベント託児・マザーズ <http://www.mothers-inc.co.jp/>
お問合せ 0120-788-222 [受付時間] 平日午前10時~12時、午後1時~5時

ご来場されるお客様へのお願い

- ご入場の際、サーモグラフィによる検温を行います。発熱等の症状がある場合、入場をご遠慮いただけます。
- 列にお並びの際は、他のお客様との間隔を空けてください。
- 必ずマスクを着用願います。ワクチン接種済みの方もマスクをご着用ください。
- 客席、ロビー等での会話、舞台への掛け声等はご遠慮ください。
- 手洗いと手指消毒にご協力ください。
- 出演者へのプレゼント、入り待ち、出待ち、楽屋見舞い等はご遠慮ください。
- 劇場バスの運行は中止しております。



伝統芸能を未来につなぐ

くろごちゃんファンド (国立劇場基金)

~国立劇場各館の事業に皆様のご支援をお願いいたします~

お問合せはこちら ▶▶ 03-3265-6719

くろごちゃんファンド

